

最先端のグリーンクラウド基盤構築に向けた研究開発 (省電力型アクセスネットワーク制御技術)

クラウドネットワークに膨大かつ多種多様なセンサ等が接続されることに伴う消費電力の増加に対応するため、センサ等により構成される多様なアクセスネットワークに適用可能な省電力型ネットワーク制御技術の研究開発を実施する。

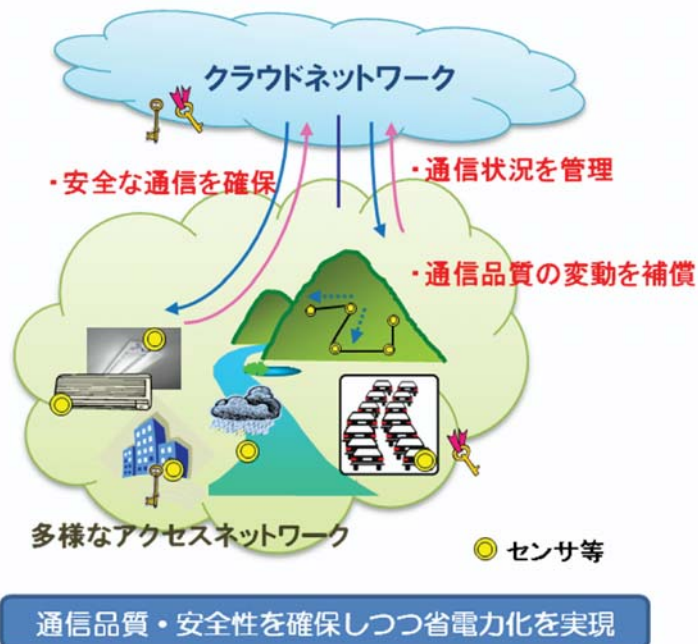
1 施策の概要

- (1) クラウドネットワークは、ユーザ自らがコンピュータ設備を保有せず、データセンタ等を利用して種々のサービスを必要なだけ利用する形態であり、近年、その使用が著しく増加している。こうした情報流通の拡大により消費電力の増加につながるものが懸念され、個々の通信機器のみならず、ネットワーク全体の省電力化を図る必要がある。
- (2) このため、平成 22 年度より「最先端のグリーンクラウド基盤構築に向けた研究開発」において、「環境対応型ネットワーク構成シグナリング技術」の研究開発を実施しているところ、平成 23 年度より、以下の「省電力型アクセスネットワーク制御技術」を加え、ネットワーク全体として一層の省電力化を図る。

○ 省電力型アクセスネットワーク制御技術

多数のセンサ等から構成されるアクセスネットワークに導入可能な、省電力で、センサ等の通信状況を遠隔で管理し通信品質の変動を補償する技術や、安全な通信を確保する技術を確立する。

2 イメージ図



3 計画年数

2 力年計画（事業開始平成 23 年度～終了平成 24 年度）

4 所要経費

平成 23 年度実施予定額
一般会計 110 百万円